



公益財団法人

日健栄協

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会

Japan Health and Nutrition Food Association

メールマガジン定期便 2025年5月 No.1

## 本日の内容 ～研修担当者様にもご回覧ください～

- 1 【募集】健康食品業界 新人向けセミナー（オンデマンド）のご案内
- 2 【募集】健康食品業界 新人向けセミナー深掘りコース（スクール形式）のご案内
- 3 【募集】届出 SR 別紙様式(V)-4 作成解説セミナーのご案内
- 4 【募集】届出後の分析実施状況公開サイト 2025年掲載情報募集
- 5 【お知らせ】「ifia/HFE JAPAN 2025」への出展とセミナーのご案内
- 6 【お知らせ】GMP 製品マークの新規承認について
- 7 【お知らせ】消費者庁：食用赤色3号を含有する食品に関する自主点検について
- 8 【お知らせ】一般社団法人日本栄養評議会（CRN JAPAN）第13回実務者研修会のご案内

◆◆◇◆理事長からのメッセージ◆◆◆◆

## 1 【募集】健康食品業界 新人向けセミナー（オンデマンド）のご案内

業務を担当して日が浅い方や今年採用された方等を対象に、健康食品業界の現状や法規制等について基礎からわかりやすく解説します。

また、貴社の研修の一環としてもご活用ください。

◆ 詳細・お申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0415.html>

■ 2025年5月19日(月)～6月1日(日)

「健康食品の全体をわかりやすく」/オンデマンド配信

- 1.健康食品の現状と動向（60分）
- 2.健康食品に関わる法規制についてー表示・広告等ー（60分）
- 3.健康食品の安全性・有効性について（60分）

■ 参加費：会員 5,500円 / 一般 11,000円（税込）

■ 会員限定 企業パッケージ型はこちら <https://www.jhnfa.org/2023program.html>

- ・配信日程を自由に設定いただけます。
- ・10名以上のお申込みで参加費がお安くなります。

■ 昨年度受講された方の感想：

「今年入社して勉強中であつたので、健康食品の区分や取り決めについてなど改めて学ぶよい機会になりました。特に法規制や安全性については知らない内容が多く、機能性表示食品の開発に携わる際に活用できそうだと感じました」

「使ってよい表現と使ってはいけない表現は自分で資料などをつくる時に必要になるので参考になりました」

「GMP：適正な製造工程管理のところはわかりやすく、GMPのなかの、HACCPと通じる点をもっと理解したいと思いました」など。

■ 問合せ先 研修企画部 [kensyu@jhnfa.org](mailto:kensyu@jhnfa.org)

## 2 【募集】健康食品業界 新人向けセミナー深掘りコース（スクール形式）のご案内

「健康食品の全体をわかりやすく（オンデマンド配信）」に続き、開発部門および製造部門に特化した内容となっております。

いわゆる健康食品の安全性の確保や GMP などの知識をより深める良い機会になると思います。なお、定員になり次第締め切りとなります。

#### ■「健康食品業界 新人向けセミナー 深掘りコース」/スクール形式（当協会会議室）

詳細はこちら <https://www.jhnfa.org/topic507.pdf>

**【安全性・有効性について】7月11日(金)10:00～12:10 定員 20名**

- (1) 健康食品の安全性・健康食品の安全性確保とは
  - ・安全性確保のための情報収集及び安全性評価の基本的考え方
- (2) 健康食品の有効性・健康食品の有効性の考え方、特定保健用食品の有効性評価
  - ・機能性表示食品の研究レビューの手法
  - ・機能性表示食品の有効性評価、販売後の事業者の責務

お申し込みはこちら <https://fs220.xbit.jp/q654/form5/>

**【製造・品質管理の詳細】7月11日(金)13:30～15:55 定員 20名**

- (1) 健康食品の製造管理について -GMPを中心に解説-
- (2) 健康食品の衛生管理について -HACCPを中心に解説-

お申し込みはこちら <https://fs220.xbit.jp/q654/form6/>

■ 問合せ先 研修企画部 [kensyu@jhnfa.org](mailto:kensyu@jhnfa.org)

### 3 【募集】届出 SR 別紙様式(V)-4 作成解説セミナーのご案内

2025年4月以降の機能性表示食品の新規届出に用いるシステムティックレビュー（SR）は、PRISMA 声明 2020年版（PRISMA2020）への準拠が必須となります。

この度、SR作成の流れを説明し、PRISMA2020 チェックリストの項目に沿って別紙様式(V)-4における具体的な記載例を示して解説するセミナーを5月・7月に開催します。

当協会では2023年12月から、SR作成に携わる実務者向けに、PRISMA2020 特別勉強会「実務者編」を定期的で開催してきました。「実務者編」では別紙様式(V)-11～16を中心に、PRISMA2020に準拠したバイアスリスクやエビデンスの確実性等の評価の在り方・考え方を解説し好評いただきましたが、本セミナーでは、別紙様式(V)-4の各項でどのような内容の記載が求められているか、具体的な記載例を示して解説し（定性的レビューを中心に一部、メタアナリシスでの記載例も紹介）、参加者からの質問にお答えします。

#### ◆「届出 SR 別紙様式(V)-4 作成解説セミナー」

詳細・お申し込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0413.html>

各月開催回の日程と内容（内容は各月同じです）は次のとおりです。

【5月開催回】2025年5月30日(金) 10:00～17:00

【7月開催回】2025年7月17日(木) 10:00～17:00

プログラム（予定）

AM：PRISMA2020 準拠 SR の 抄録、緒言、方法 解説

PM：PRISMA2020 準拠 SR の 結果、考察、その他の情報 解説

募集人数 各回 20名（先着順）

機能性表示食品の届出に用いる SR の作成に従事される方々、PRISMA2020 準拠版 SR の作成にあたり疑問・不明点があるという方々のご参加をお待ちしております。

■ 問合せ先 機能性食品部 [kinousei@jhnfa.org](mailto:kinousei@jhnfa.org)

#### 4 【募集】届出後の分析実施状況公開サイト 2025 年掲載情報募集

平成 30 年に消費者庁から発出された[機能性表示食品制度に関する事務連絡](#)において、届出後の分析実施状況に関する情報公開が求められています。

この情報公開は、消費者庁の届出マニュアルの中でも推奨されており、事業者が取り組むべき大切な事柄です。しかし、情報を公開している事業者の数が未だ非常に少ないため、消費者庁は 2023 年 4 月に届出データベースの掲示板において[届出事業者の取組を求める再周知](#)の掲示を行いました。

当協会では、事業者による分析実施状況の情報公開を支援するため、2019 年より[機能性表示食品 届出後の分析実施状況公開サイト](#)を開設しております。

この度、**2025 年に公開する掲載情報の募集を行います。**機能性表示食品の届出事業者におかれましては、この機会に是非当協会の公開サイトをご利用ください。

**申込締切：2025 年 5 月 30 日(金)**

詳細・申込はこちら <https://www.jhnfa.org/kinou6.html#4>

分析状況は代表例でも問題ありません。分析実施状況の情報管理と公開は協会が代行するので、各事業者での作業は年に一度、専用のフォーマットで情報をご提出いただくだけです。また、当協会の機能性食品部に所属の事業者は無料で、他部に所属の事業者も特別価格でご利用いただけます。詳細は [Q&A](#) もご参照ください。

■ 問合せ先 機能性食品部 [kinousei@jhnfa.org](mailto:kinousei@jhnfa.org)

#### 5 【お知らせ】「ifia/HFE JAPAN 2025」への出展とセミナーのご案内

当協会では、「ifia/HFE JAPAN 2025」への出展およびプレゼンテーションを行います。

皆様のご来場をお待ちしております。

◆ イベント詳細・来場者事前登録はこちら <https://www.ifiajapan.com/>

##### 【出展】

**期日：2025 年 5 月 21 日（水）～23 日（金）**

会場：東京ビッグサイト 南 2 ホール（1 階）小間番号：2216

テーマ：「PRISMA2020 対応」と「GMP の要件化」をわかりやすく解説

健康食品の安全性、品質確保、GMP に関するご相談をお受けするとともに、「PRISMA2020 対応」や「GMP 要件化」の詳細について詳しく解説します。

##### 【セミナー】

**期日：2025 年 5 月 23 日（金）16:10～16:40**

会場：東京ビッグサイト南 2 ホール

ステージ B 機能性表示食品開発セッション会場

【機能性表示食品の最新トピックス&開発セッション】

テーマ：「機能性表示食品制度の改正に対する日健栄協の取り組み」

講師：機能性食品部 部長 菊地 範昭

[https://www.ifiajapan.com/visitor/seminner\\_zone](https://www.ifiajapan.com/visitor/seminner_zone)

■ 問合せ先 渉外広報室 [shogaikouho@jhnfa.org](mailto:shogaikouho@jhnfa.org)

## 6 【お知らせ】 GMP 製品マークの新規承認について

2025年4月15日付けで以下の製品が GMP 製品マーク表示承認となりましたので、お知らせします。

**会社名：株式会社サンセリテ札幌**

**製品名：歩ひざ王 a**

**会社名：株式会社プロラボホールディングス**

**製品名：トリプルカッターEX グランプロ**

GMP 製品マークを表示することにより、適切な製造管理・品質管理の下で製造された製品として消費者に訴求することができます。

当協会の GMP 認定工場で製造された製品は、個別の申請に基づく審査会の審査により、GMP 製品マークを表示することが可能です。

**GMP 製品マーク表示承認製品はホームページで紹介しています。**

<https://jhnfa.org/gmp-m2.pdf>

■ 問合せ先 健康食品部 [kenshoku@jhnfa.org](mailto:kenshoku@jhnfa.org)

## 6 【お知らせ】 消費者庁：食用赤色 3 号を含有する食品に関する自主点検について

令和 7 年 4 月 21 日付けで「食用赤色 3 号を含有する食品に関する自主点検について」の通知がありましたのでお知らせします。

**【消費者庁】**

**食用赤色 3 号を含有する食品に関する自主点検について（消食基第 289 号）**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards\\_evaluation/food\\_additives/assets/cms\\_standards\\_102\\_250421\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/food_additives/assets/cms_standards_102_250421_01.pdf)

■ 問合せ先 消費者庁 食品衛生基準審査課 添加物係

TEL：03-3507-8800（代表） 03-3507-9351（課直通）

## 7 【お知らせ】 一般社団法人日本栄養評議会（CRN JAPAN）第 13 回実務者研修会のご案内

一般社団法人日本栄養評議会（CRN JAPAN）は以下の日程にて第 13 回実務者研修会を開催しますのでお知らせします。

**【一般社団法人日本栄養評議会（CRN JAPAN）第 13 回実務者研修会】**

主催：一般社団法人日本栄養評議会（CRN JAPAN）

実施形態：Web セミナー（Zoom ウェビナー）

日時：2025年5月22日（木）10:00～16:40

【研修会内容】

- 1 限 いわゆる「健康食品」に関わる制度や規制について
- 2 限 健康食品原材料の製造と HACCP
- 3 限 安全と機能検討委員会の活動について
- 4 限 タブレット、顆粒、ゼリー等の製剤化について
- 5 限 ソフトカプセル、シームレスカプセル、ハードカプセルの製造方法
- 6 限 健康食品の市場動向と今後の展望

詳しくはこちら

<https://www.jhnfa.org/mailmaga/250411.pdf>

■ 問合せ先 一般社団法人日本栄養評議会 事務局 事務局長 陣野 文彦

TEL：03-3523-0575 / FAX：03-3523-0576 / Mail：[office@crnjapan.org](mailto:office@crnjapan.org)

◆◆◇◆理事長からのメッセージ◆◆◇◆

5月のゴールデンウィーク、皆さまいかがお過ごしですか。新年度が始まり、慌ただしい日々が続きました。今年度は様々な制度改正が予定されており、健康食品産業の信頼回復、さらなる信頼向上が大事であると考えております。

4月4日（金）、埼玉医科大学の亀井教授がお見えになり、3月の日本衛生学会学術総会ランチョンセミナーで、当協会の特定保健用食品技術部会が「特定健診の結果が気になりはじめたらトクホを活用してみませんか」を発表したことについてお礼の言葉をいただきました。お話の中で、日本衛生学会だけでなく日本公衆衛生学会についても関心をお持ちであることが分かりました。当協会は秋に東京農業大学で開催される第72回日本栄養改善学会学術総会で活動予定であることをお伝えし、今後のご協力をお願いしました。

4月16日（水）、特別用途食品制度の活用に関する研究会（特活研）の総会が開催され、「日健栄協が考える特別用途食品の未来」について講演を行いました。特別用途食品は、今後需要が拡大すると見込まれる在宅療養において、適切な栄養管理を支援する効果的な手段になると考えます。消費者庁も業界要望等を基にした制度改正などを通じ許可取得を推進しており、当協会としても特活研の活動等を通じて関係省庁に働きかけます。

4月22日（火）、健康と食品懇話会の定時総会、懇親・交流会が明治記念館で開催されたので参加しました。4月から厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課長に就任された今川正紀課長（前：消費者庁食品表示課保健表示室長）も参加され、再会することができました。今川課長は食品健康被害情報管理室長も併任され、引き続き業界と密接な関係がある業務とのことで、当協会の今後の取り組みについてもお話することができました。

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 理事長 矢島 鉄也



\* 配信停止・配信先の変更などは総務部 [kaiin@jhnfa.org](mailto:kaiin@jhnfa.org) までご連絡ください。

配信元 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 <https://www.jhnfa.org>

東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7番地27